



苗田町春彦

リトル・ワ・レス

木母村長 01



リトルプレス梅桃01

制作：茜町春彦

目次：

- 今来靈異記「積雪の事」
- 和文英訳「種田山頭火」
- 断簡零墨「9月入学」
- 新作万葉集「第8頁」
- 仮説エッセイ「万葉仮名解読法覚書」
- 計算エッセイ「ポイント還元」
- 調理エッセイ「そばがき団子」
- 自作エッセイ「壁掛け神棚」

前書き

前書き

今来靈異記「積雪の事」：

架空の動物が登場する絵本を制作しました。漢文書き下しの的な文体になっています。

和文英訳「種田山頭火」：

句集「鴉」の中から4句を選び、英訳しました。

断簡零墨「9月入学」：

大学の入学時期に就いて思った事です。

新作万葉集「第8頁」：

現代の出来事をアイデアの基にして、万葉仮名で歌を2首詠みました。人物・団体等は全て架空のものです。

仮説エッセイ「万葉仮名解読法覚書」：

万葉仮名の解読法についての覚書です。

計算エッセイ「ポイント還元」：

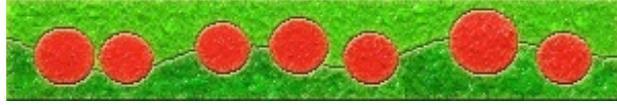
量販店で購入する商品の代金をポイントで支払うタイミングに就いて考えた事です。

調理エッセイ「そばがき団子」：

そば粉を使った調理レシピを紹介します。

自作エッセイ「壁掛け神棚」：

プリンタで印刷して作る壁掛け式の神棚を紹介します。

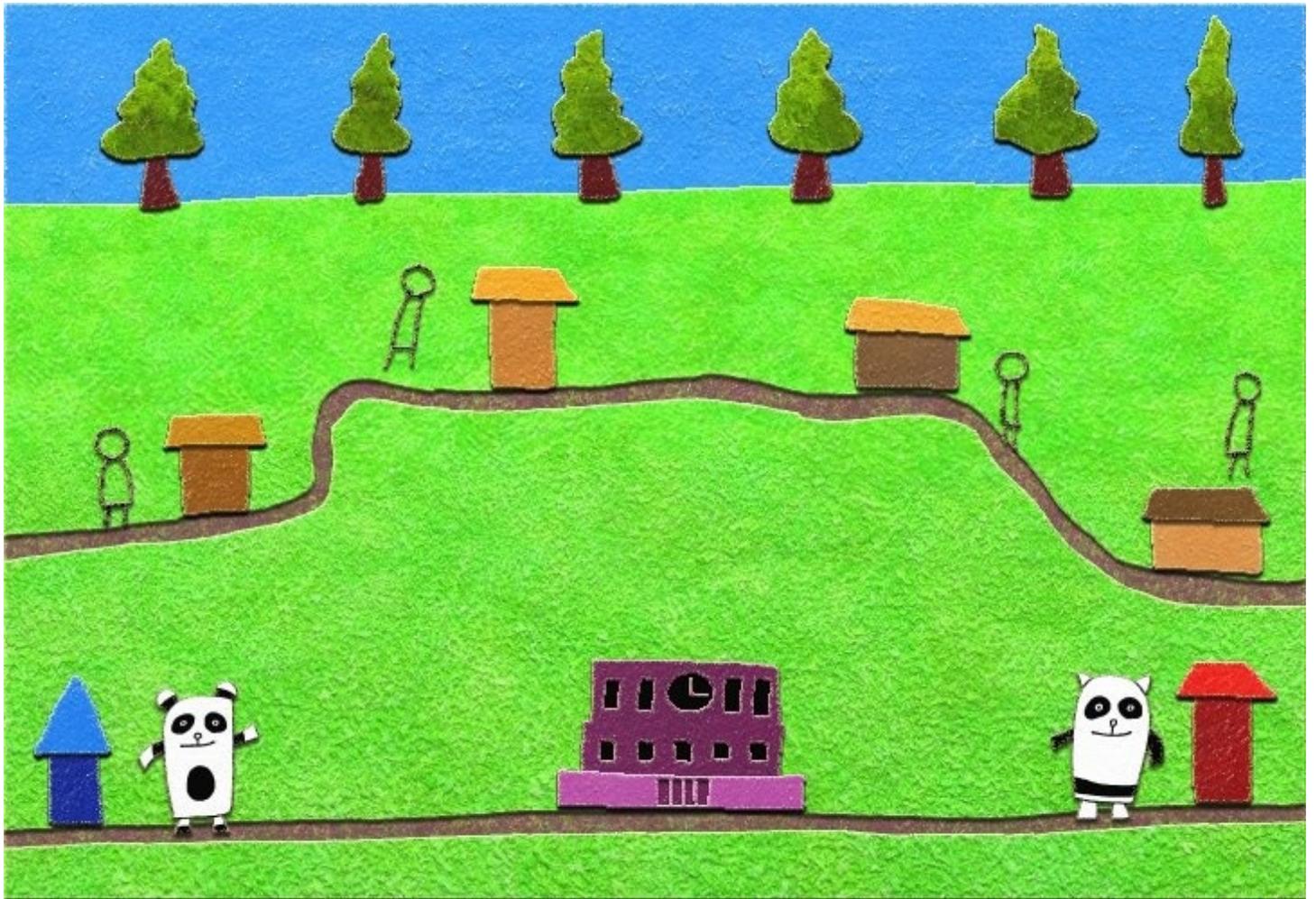


今来霊異記「積雪の事」

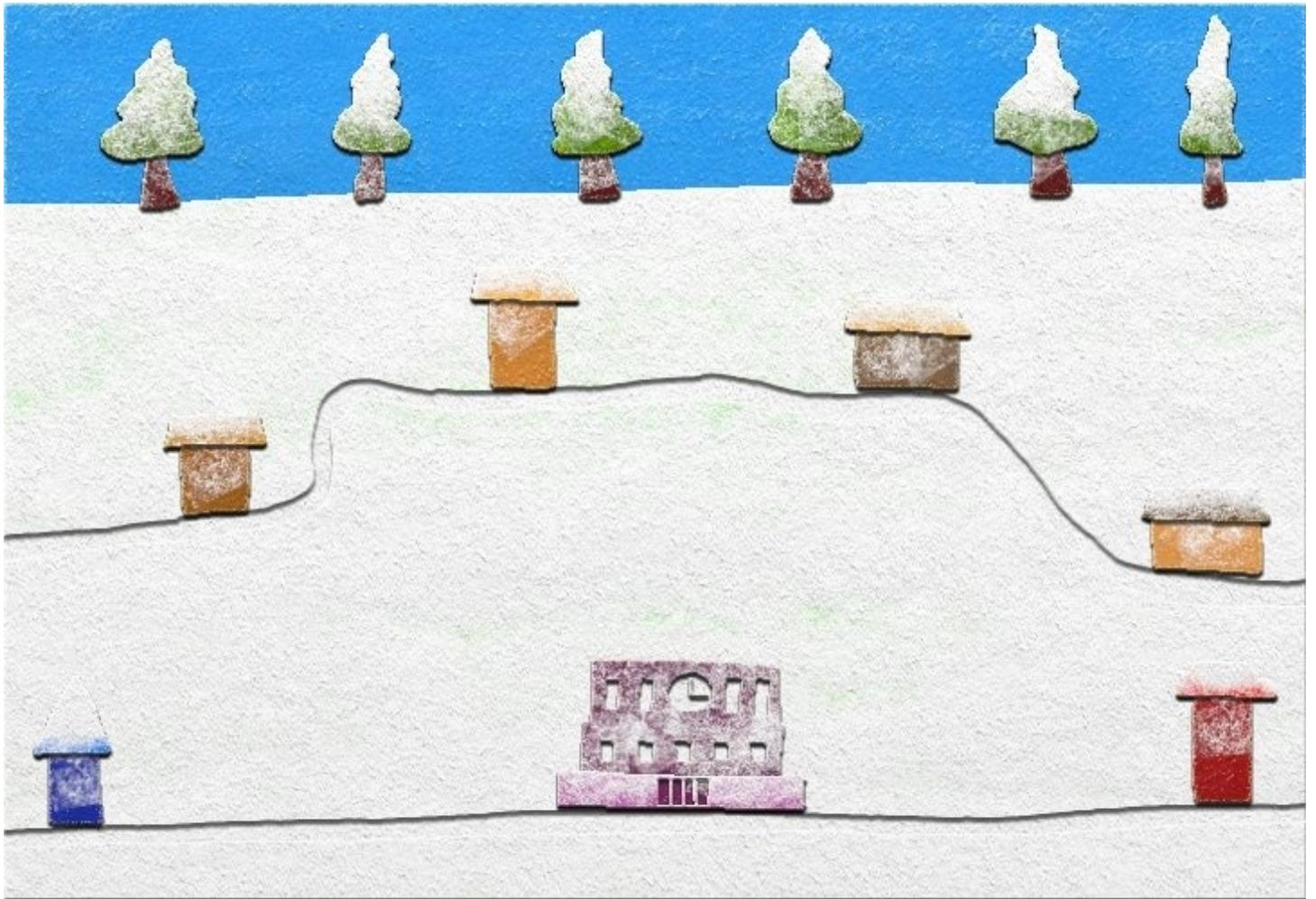
絵・文：茜町春彦

概要：

架空の動物が登場する絵本を制作しました。文章は漢文書き下し風です。霊異記だけにチョット
抹香臭くなりました。



寒さ厳しくとも滅多に雪降らぬ或る町に、ニセパンダとパンダモドキが住むと云う。



或る冬の日曜日、未明より雪降り始め、夕方に止む。町には、20cmの雪が積もりけり。



町の西のはずれに住み、町の真ん中にある学校へ通うニセパンダは、降る雪のなかつ方まで遊び
けり。



ニセパンダ、遊び疲れたりて、宵には寝入る。



翌朝、歩いて学校へ向かうと云う。



一方、東のはずれに住み、同じ学校へ通うパンダモドキは、日曜日の夕方、雪が止むと、雪かきを始めたる。



家より学校まで、歩く幅だけは確保す。



パンダモドキ、大汗を掻きながら家へ戻り、風呂に入りたる後、暖かくし休みけり。



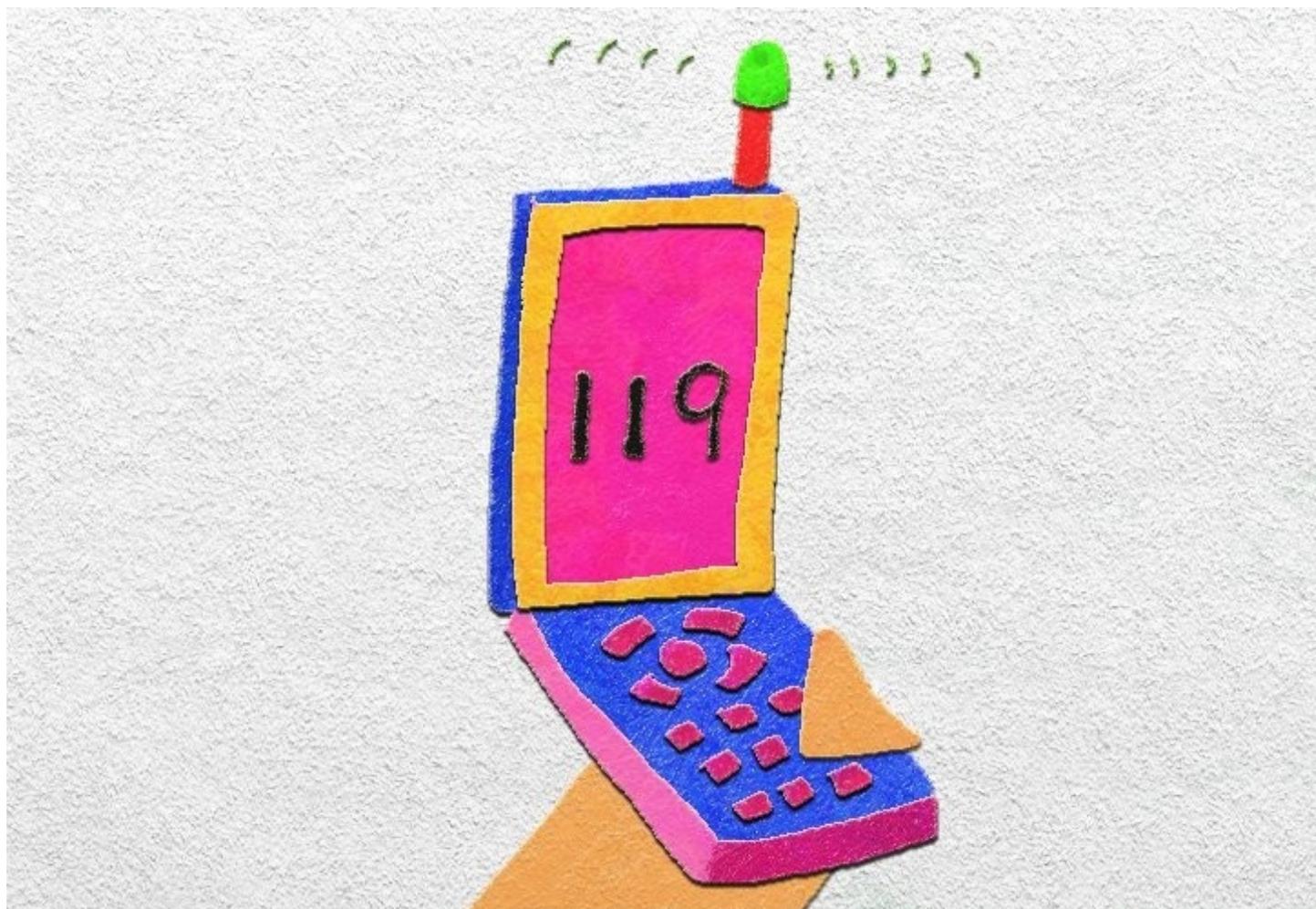
翌朝、起きて登校す。



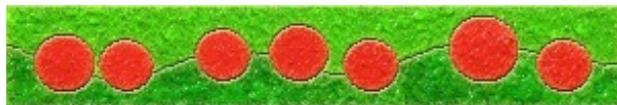
遅刻もせず、歩いて行けり。



話は戻り、登校途中のニセパンダは、凍結し氷となりたる雪の上で滑り転びて、骨を折りけり。



近所の親切な人が救急車を呼びたりけるが、いつまで待つと雖も、来ること無かりけり。
(了)



和文英訳「種田山頭火」

訳：茜町春彦

原作：種田山頭火

概要：

句集「鴉」の中から4句を選び、英訳しました。

種田山頭火について：

行乞しながら自由律俳句を作り続けた俳人です。没年は昭和15年です。

種田山頭火

風のなか米もらひに行く

- I walked with the wind and begged for my bread.

空襲警報るゐるゐとして柿赤し

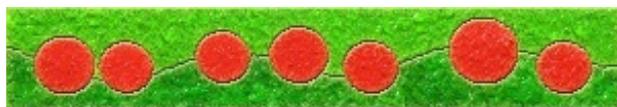
- I heard air-raid warnings in a heap, and then, I looked up but saw ripe persimmons.

水のうまさを蛙鳴く

- A frog croaked out as if it was satisfied with the taste of water.

生えて墓場の、咲いてうつくしや

- The spider lilies, which are called "the plants growing in graves", are in bloom and beautiful.



断簡零墨「9月入学」

文：茜町春彦

概要：

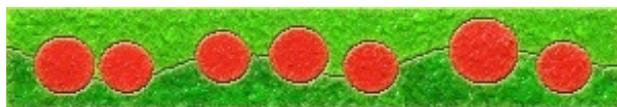
大学の入学時期に就いて、何となく思った事です。

断簡零墨「9月入学」

大学の入学時期は、4月でも9月でも、各大学が適当に決めれば良いと思う。そうすれば企業は4月に一括して新卒採用できなくなる、若しくは、しなくなる。中途採用を含めて随時採用するようになる気がする。なぜ全国一斉に入学したり就職したりする必要があるのだろうか。

話を変えて、小学校の図画工作の授業に就いて。

算数や国語が手本の習得であるとするれば、図画工作は自発的に考える訓練であると思う。白い紙に何かをゼロから描き出す、粘土の単なる塊りから何かを創り出す、などなど。



新作万葉集「第8頁」

作：茜町春彦

概要：

現代の出来事から主題をとり、万葉仮名で歌を2首詠みました。人物・団体等は全て架空のものです。

新作万葉集

冬相聞

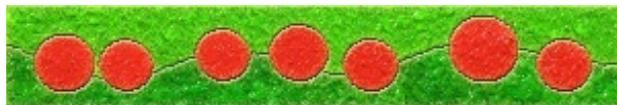
或女子高生詠、歌1首

- 枯氏戸由紀乃上男須真帆美奈柄歩痛手痛鱒頃美真下

雜歌

或国税庁職員詠、歌1首

- 五寢手藻夢馱馱八矢苦腹絵十税戸優奈



仮説エッセイ「万葉仮名解読法覚書」

著者：茜町春彦

概要：

万葉仮名の解読法についての覚書です。（歌番号169の『茜刺日』の読み方）

歌番号169の原文を引用しますと、

- 169 茜刺日者雖照有 烏玉之 夜渡月之隱良久 惜毛

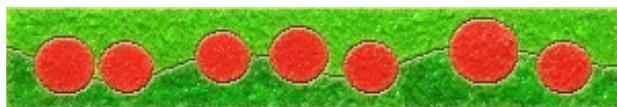
引用を終わります。

『茜刺日』は1字1音として『あさひ』と読み、現代日本語調に訳しますと、

- 169 朝日は照ると雖も、新月では、夜渡る月は隠れている、残念だなぁ

のようになると思います。

また、『烏玉之』を新月と訳すことに就いては、既刊「リトルプレス小豆A6」で考察していますので、興味のある方は参考にして下さい。



計算エッセイ「ポイント還元」

著者：茜町春彦

概要：

量販店で商品を購入する時に代金を、現金で支払うのと、ポイントで支払うのでは、違いがある事を計算例を上げてしめします。ただし、ポイント支払いにはポイントが付かないとします。

ポイント還元

客が商品AとBを購入する場合を考えます。そして、客は現金1000円と1000ポイントを持っているとします。

商品Aは価格1000円でポイント還元率10%であるとしてます。

商品Bは価格1000円でポイント還元率20%であるとしてます。

計算例1：客が商品Aを現金で購入した後、商品Bをポイントで購入したとします。

すると、客は商品AとBそして100ポイントを受け取る事になります。

<計算例1>

商品A
価格1000円
ポイント還元率10%

← 現金1000円

→ 100ポイント

商品B
価格1000円
ポイント還元率20%

← 1000ポイント

→ 0ポイント

計算例2：客が商品Aをポイントで購入した後、商品Bを現金で購入したとします。

すると、客は商品AとBそして200ポイントを受け取る事になります。

<計算例 2>

商品A
価格1000円
ポイント還元率10%

← 1000ポイント

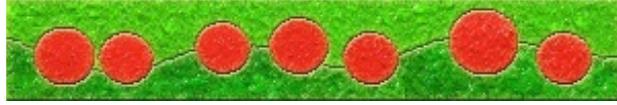
→ 0ポイント

商品B
価格1000円
ポイント還元率20%

← 現金1000円

→ 200ポイント

以上から、ポイント還元率の高い商品は現金で支払い、ポイント還元率の低い商品はポイントで支払うのが、客にとって有利な支払い方になります。（尤も、値引きするなら現金で値引きすべきと思っておりますが）



調理エッセイ「そばがき団子」

著者：茜町春彦

概要：

そば粉を使った調理レシピを紹介します。

注意：

本エッセイの目的は情報提供のみです。実際の調理に於いては、自己責任で行ってください。

- 熱傷に注意してください
- 食品アレルギーに注意してください

そばがき団子

調理器具：

耐熱性の器（電子レンジ対応のドンブリなど）

はし、大さじ、やかん、ラップ、電子レンジ（定格出力500kW）

レシピ1：プレーンそばがき団子

材料（1人分）：

- そば粉、50グラム（大さじ4杯程度）
- 熱湯、50cc～100cc程度

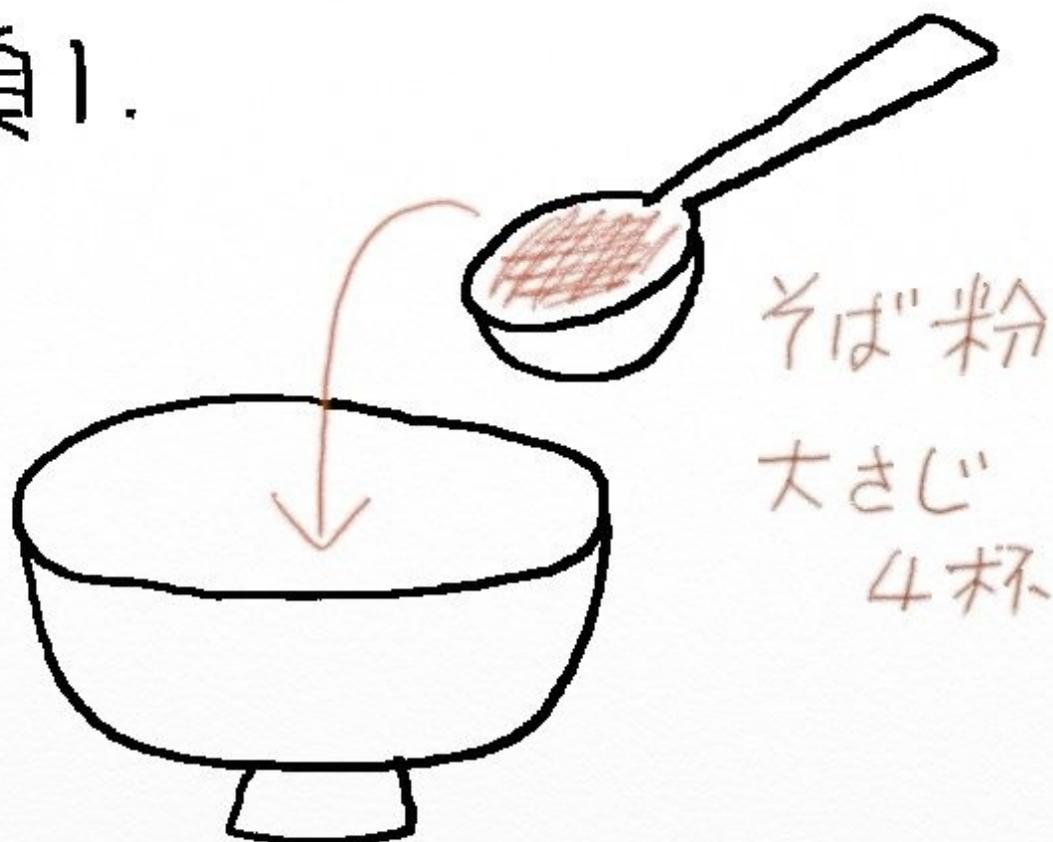
手順1：そば粉50グラムを、器に入れる。

手順2：熱湯を、手順1へ目分量で注ぐ。（50ccでは固めに仕上がります。100ccでは柔らかめに仕上がります。また熱傷に注意して下さい）

手順3：はしで、手順2を50秒ほど練る。（熱さに注意しながら納豆をかき混ぜる要領で練ります。つきたての餅のような状態になります。また、この時点で蕎麦がきとして食べる事ができます）

手順4：ラップを、手順3にかぶせて電子レンジで50秒ほど加熱します。（団子状に固まります）電子レンジから取り出して、出来上がりです。（ラップを外す時に蒸気に注意）わさび醤油やマヨネーズまたはハチミツなどをつけて食べるとよいでしょう。

手順1.



そば粉
大さじ
4杯

手順2.



熱湯
50cc
9
100cc

手順3.



手順4.



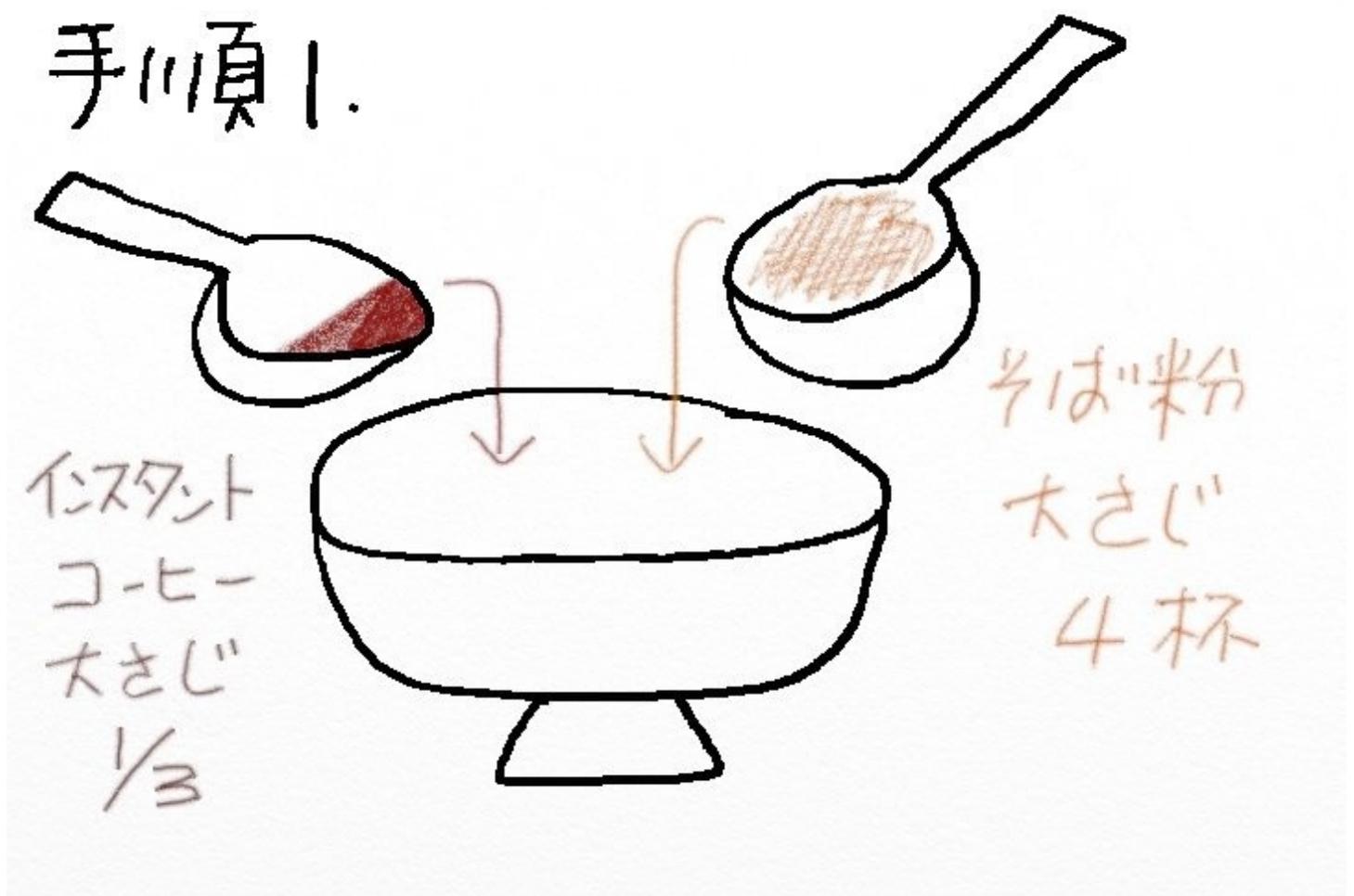
レシピ2：コーヒーそばがき団子

材料（1人分）：

- そば粉、50グラム（大さじ4杯程度）
- インスタントコーヒー3グラム（大さじ3分の1程度）
- 熱湯、50cc～100cc程度

手順1：そば粉50グラムとインスタントコーヒー3グラムを、器に入れて混ぜる。

手順2、3、4：前述のプレーンそばがき団子の手順2、3、4に同じ。



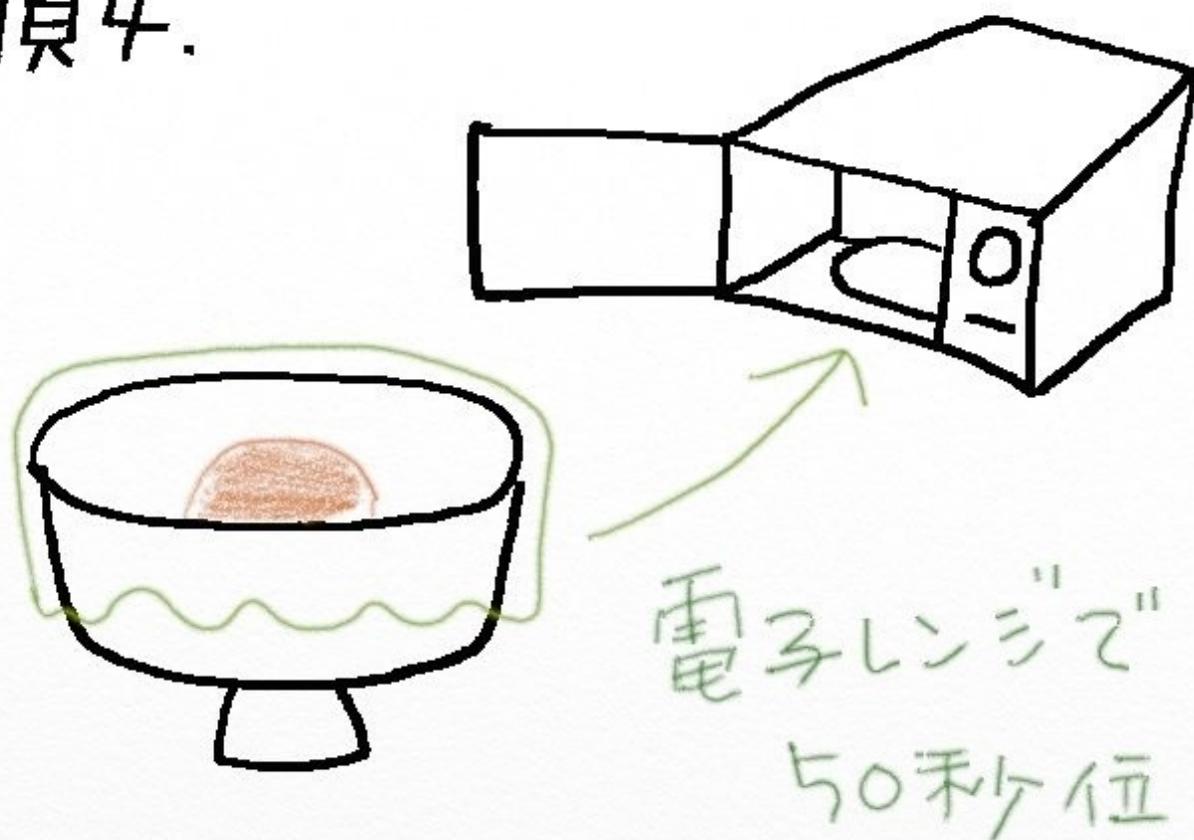
手順2.



手順3.



手順4.



レシピ3：チーズそばがき団子

材料（1人分）：

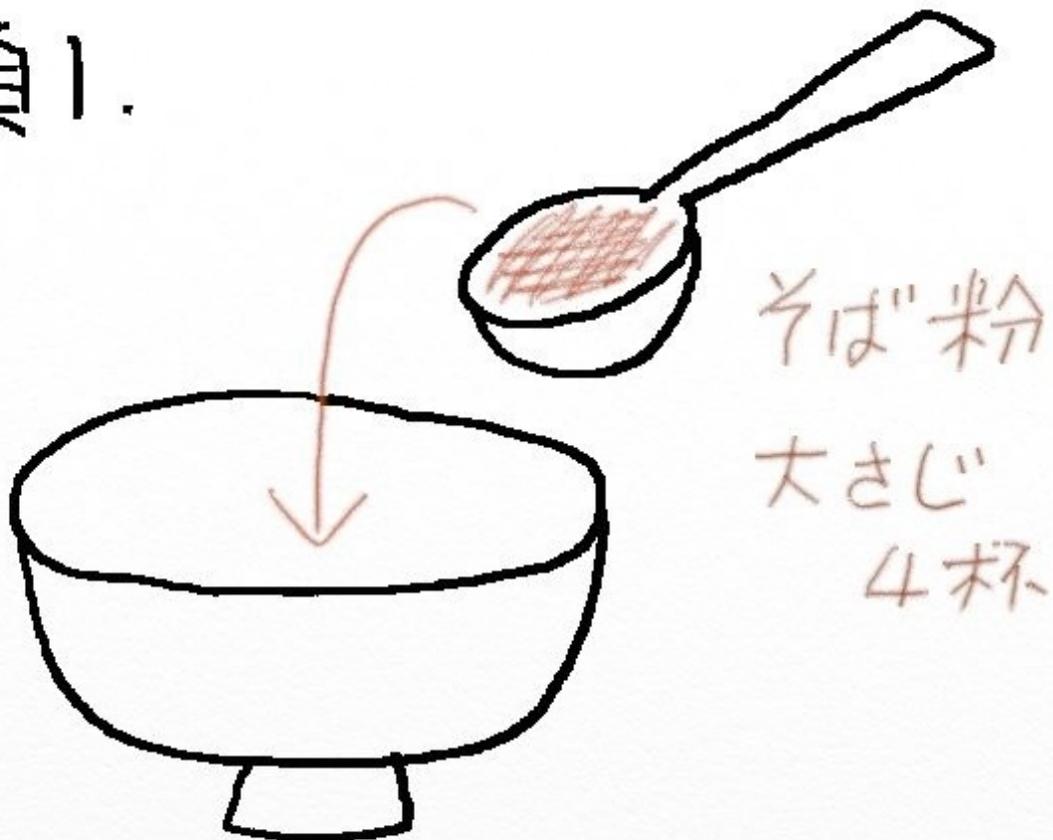
- そば粉、50グラム（大さじ4杯程度）
- チーズ20グラム（1切れ程度）
- 熱湯、50cc～100cc程度

手順1、2、3：前述のプレーンそばがき団子の手順1、2、3に同じ。

手順4：チーズ20グラムを、手順3のそばがきの中心部に埋め込む。（饅頭のアンのように）

手順5：ラップを、手順4にかぶせて電子レンジで1分ほど加熱する。電子レンジから取り出して、出来上がりです。（熱さに注意）ドレッシングやケチャップまたはジャムを付けて食べてください。

手順1.



手順2.



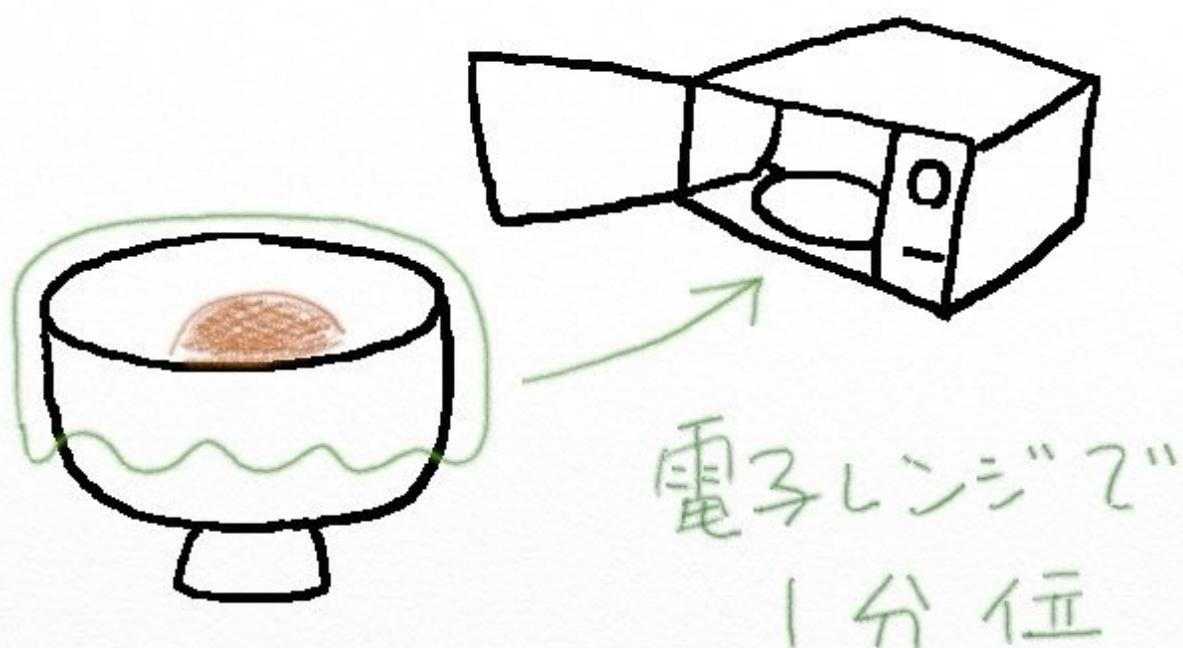
手順3.



手順4.



手順5.

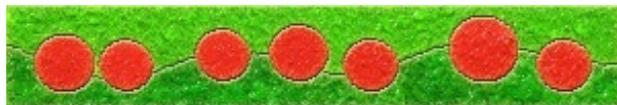


参考値：そば粉50グラムの栄養成分

- 熱量：173キロカロリー（おむすび1個相当）
- 糖質：35グラム
- 蛋白質：6グラム
- 脂質：1グラム
- 塩分：0グラム



(以上です)



自作エッセイ「壁掛け神棚」

著者：茜町春彦

概要：

神社の御札や御守りを納める、壁掛け式の神棚を紹介します。

注意：

本エッセイの目的は情報提供のみです。実際の作成に於いては、自己責任で行ってください。

壁掛け神棚

用意するもの：

- デジタルカメラ（若しくは、CGソフト）
- パソコンとプリンタ
- プリンタ用紙（A4サイズ、写真出力用など丈夫で厚手のもの）

手順1：神棚または神社を、デジタルカメラで撮影します。（若しくは、イラストを描きます）

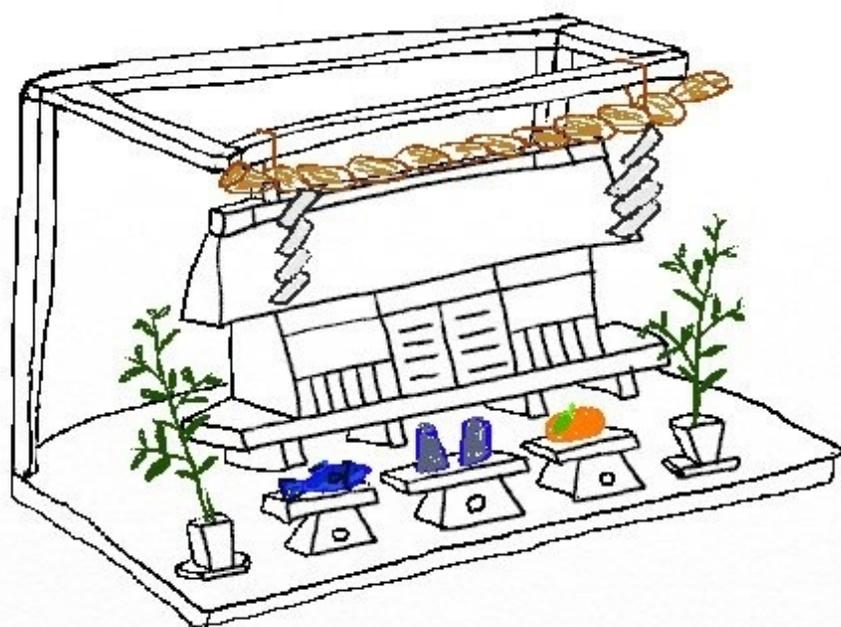
手順2：神棚の写真パソコンに取り込み、プリンタ用紙の上半分に印刷するように設定します。そしてプリンタに出力します。

手順3：印刷されたプリンタ用紙を半分に折り、パンチで穴を開けます。

手順4：二つ折りのプリンタ用紙の間に、御札を挟みます。

手順5：壁に、フックを取り付けます。

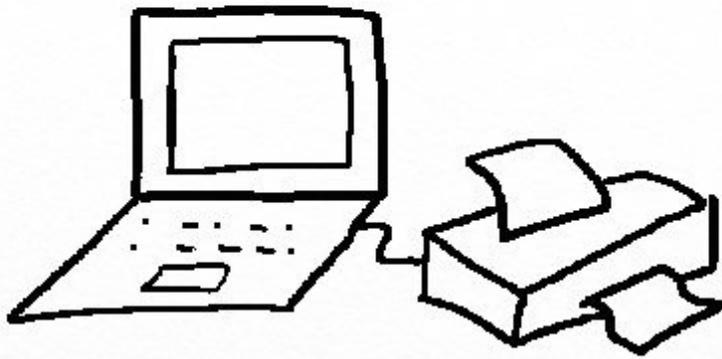
手順6：フックに掛けます。



手順1.

神棚または神社を撮影

手順2.



上半分に印刷



下半分は余白

手順3.

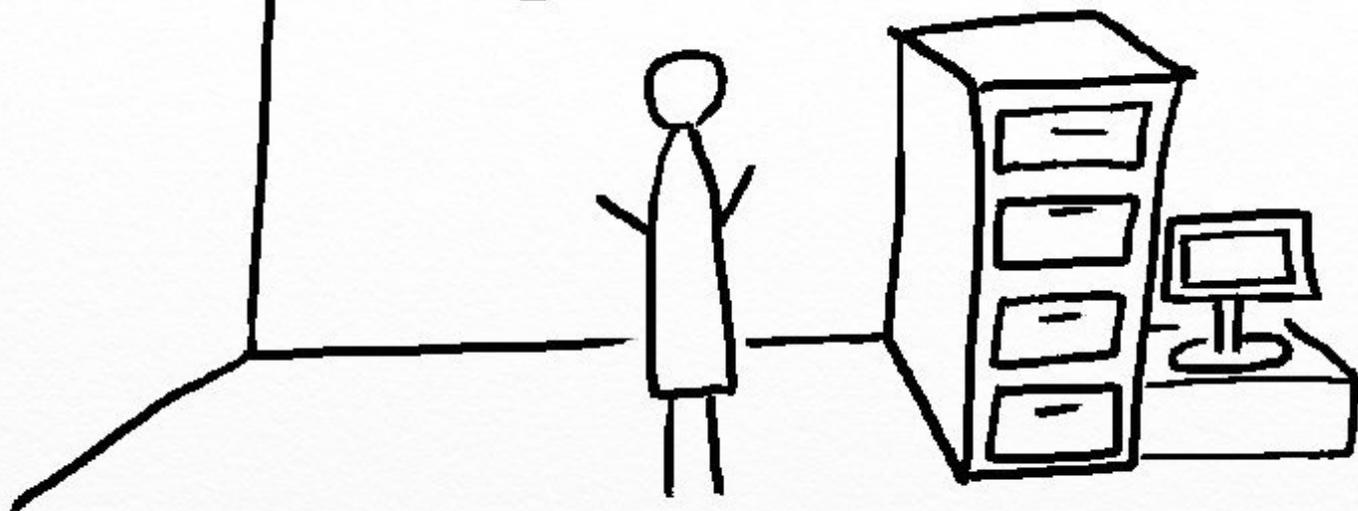
10センチ穴をあける



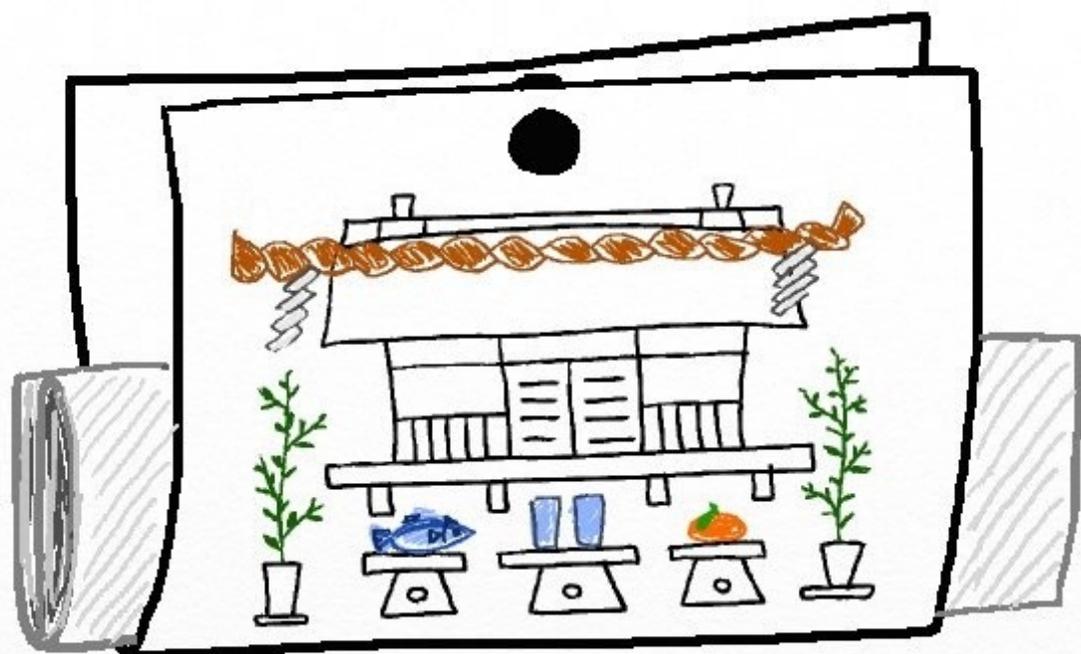
2つ折りにする

手順4.

フック



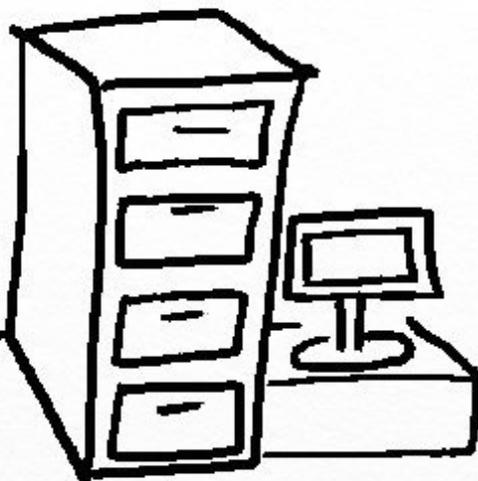
手順5.



御札や御守りをはさむ

手順6.

壁に掛ける



(以上です)

後書き

参考文献：

- 角川漢和中辞典 : 1995年11月20日 235版発行 (株式会社角川書店)
- 大漢語林 : 平成4年4月25日 初版発行 (株式会社大修館書店)
- 字統 : 1985年1月7日 初版第8刷発行 (株式会社平凡社)
- 古語大辞典 : 昭和60年1月21日 第1版第6刷発行 (中田祝夫・和田利政・北原保雄編、株式会社小学館)
- レトリックのすすめ : 2009年9月1日 初版第2刷 (野内良三著、株式会社大修館書店)
- 新選万葉集抄新装版 : 平成25年1月30日 新装版第2刷発行 (小野寛著、有限会社笠間書院)
- 萬葉集一 新日本古典文学大系1 : 1999年5月20日 第1刷発行 (佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注、株式会社岩波書店)
- 萬葉集二 新日本古典文学大系2 : 2000年11月20日 第1刷発行 (佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注、株式会社岩波書店)
- 萬葉集三 新日本古典文学大系3 : 2002年7月29日 第1刷発行 (佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注、株式会社岩波書店)
- ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2色刷り : 1994年4月1日 改訂版初版発行 (株式会社大修館書店)
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷 : 昭和50年9月15日 第1刷発行 (株式会社三省堂)
- 実例英文法〈第4版〉 : 昭和63年6月 第1刷発行 (AJ.トムソン・AV.マーティネット共著、江川泰一郎訳、オックスフォード大学出版局)
- Longman Dictionary of American English : First printing 1983 (Longman Inc.)
- 五訂食品成分表2004 : 平成16年1月 初版第1刷発行 (香川芳子監修、女子栄養大学出版部)
- 山頭火句集 : 2000年6月15日 第5刷発行 (村上護編、ちくま文庫)

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro (アンビエント社)
- Photoshop Elements 10 (アドビシステムズ株式会社)

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。

作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2014年3月7日発行

リトルプレス梅桃01

<http://p.booklog.jp/book/83431>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/83431>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/83431>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ